

# も 木 土 の こ ど も だ よ り

## 『木土のこどもだより』名前の由来。

「木と水の都」とよばれる盛岡市において、地域の皆さんの力で子どもたちの心を育み、木々の枝のように伸びやかに育てていければ・・・、という願いを込めました。

「放課後子ども教室」とは、全国の小学校区において、放課後や週末等に小学校の余裕教室などを活用し、地域の方々の力を借りて、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などを行い、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するものです。

盛岡市では、「上田ジュニアキャンパス（UJC）」、「渋民放課後子ども教室」、「うれし野こども図書室子ども教室」、「中屋敷公民館子ども教室」、「繋小学校放課後子ども教室」の5つの放課後子ども教室を開設しています。

今回は、読書活動をしながら放課後を過ごす、「中屋敷公民館子ども教室」の様子をご紹介します。

## 中屋敷公民館子ども教室の活動紹介



### 子ども教室の概要

- 📍 **所在地**  
盛岡市中屋敷町4-16  
(中屋敷町自治公民館 うすゆきそう文庫)
- 📞 **連絡先**  
019-643-7197 (澤口代表)
- 👥 **対象小学校区**  
大新小学校区・厨川小学校区
- 📅 **開催日時**  
毎週木曜日  
午後2時から6時まで
- 📖 **主な事業内容**  
本の貸し出し、おはなしの時間、読書アドバイス
- 👦 **利用している子どもたちの様子**  
子どもたちは自由に本を読みながらくつろいで過ごし、スタッフは子どもたちを見守りながら、話を聞いたり、読み聞かせしたりしています。

地域文庫でもある「うすゆきそう文庫」には、約3,000冊の本が並んでいます。作者が岩手県軽米町出身の「ハイキュー!!」などのマンガもあり、中高生も楽しめます😊



ぼくの大好きなサバイバルシリーズもたくさんあって、うれしいな



## 教室の特長

地域文庫であり、読み聞かせ事業も行っている「うすゆきそう文庫」が、町内会、子ども会と協力して運営しています。本の貸し出しと読み聞かせ、ストーリーテリング（語り）のほか、「なつよりのおはなし会」や「クリスマスおはなし会」の開催、三世代交流行事への参加など、季節ごとの催しもあります。また、近隣の城西児童センターと連携して子どもの「絵本読み講座」を実施しており、修了証をもらった子どもたちは、おはなし会の場で同年代の子に絵本を読んであげています。長年の活動が認められ、「うすゆきそう文庫」は平成26年度に文部科学省の「子どもの読書活動の実践表彰」を受けました。



## 活動の様子

1月17日、木曜日。冷え込みが厳しい日でした。スタッフとボランティア仲間の滝田さんが、お部屋を暖めて、子ども達が来るのを待っていました。午後3時半から読み聞かせやわらべうた、ストーリーテリング（語り）が行われる「おはなしのじかん」が始まります。この日は、赤いおべのおさるさんが登場し、「山王のお猿さんは…ハテナハテナ ハテハテハテナ♪」と楽しいわらべうたに、子ども達はお椀をのぞきこんでみたり、はっと驚いたりしていました。大人の私たちも、すっかり魅了されいつの間にかリズムに乗って楽しい時間を過ごしました。



その後、「せきとりしりとり」「なかま」「かさじぞう」の読み聞かせや語りがあり、子ども達の笑い声が響きました。

文庫には、お母さんのお腹のなかにいる時から続けて通っている子や、遠くから参加の親子もいました。2階で行われる習字教室の合間に立ち寄り子も多いそうです。通っている子で、読書感想文が全校1位となった子もいたりして、活躍を嬉しく思いました。

子どもから大人まで  
楽しめる文庫だと  
思いました。中堅親子も  
教室のみなさん、ありがとう  
ございました。



本を読むことに限らず、「ボトルチップス」という木のおもちゃを重ねていくゲーム等をして楽しむこともできたり、思い思いの時間を過ごし、帰っていく…自由な時間の使い方ができ、それを見守るスタッフの心遣いに愛を感じました。

今年度は今回が最終号です。お読みくださりありがとうございました。来年度もどうぞよろしくお願いいたします！

※御意見・御要望お待ちしております。  
【発行】盛岡市教育委員会事務局生涯学習課  
(電話:019-639-9046 Mail:edu.sgs@city.morioka.iwate.jp)